

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		シルバー人材センター運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	野口 政浩
	基本事業	48	高齢者の働く場の提供			所属班	高齢者保険班	(内線)	2115
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律 合志市健康福祉補助金等交付要綱	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果	9 6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H9 年度) ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	定年退職等で引退した高齢者等に就業機会を提供するための事業に対する助成。会員数の増を図る。 平成9年シルバー人材センター設立から平成19年3月29日社団法人となる。 契約額、会員数、延べ就業日数ともに増えている。 団塊の世代が定年退職を向かえ、今後退職高齢者の雇用の確保が必要となるなか、就業先に確保と新規事業の開拓が急務となってくる。
【業務の流れ】	社団法人合志市シルバー人材センター補助金支払事務、県への補助金交付事務、実績報告事務、補助金請求事務。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	会員から高齢者等の就業をもっと増やしてほしい。 市民からシルバー人材センターへの仕事の問い合わせがある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
(社)合志市シルバー人材センターに補助金を支払う。 熊本県へ補助金申請をおこなう。	21年度同様
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア:市シルバー人材センターが運営できる	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
(社)合志市シルバー人材センター	⇒ア:シルバー人材センター数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
円滑に運営できる。	⇒ア:シルバー人材センター会員数 人
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 件	2569	2763	2650	2552	2700	2750		
⑤ 対象指標	ア 人	1	1	1	1	1	1		
⑥ 成果指標	ア 人	230	240	290	244	300	310		
事業費 投入量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	2,875	2,753	2,753	2,753			
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	5,750	5,508	5,508	5,508	8,261	8,261	
	(A) 事業費計	千円	8,625	8,261	8,261	8,261	8,261	8,261	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	4	2	4	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	21	54	21	75	75	75	75
	(B)人件費計	千円	83	216	84	299	299	299	299
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,708	8,477	8,345	8,560	8,560	8,560	299	

総トータルコスト	全体計画	~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)		
		0
		0
		0

事務事業名	シルバー人材センター運営支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 高齢者の退職と年金受給期間まで国においてもさまざまな政策に取り組んでいるものの、高齢者の再雇用は非常に厳しいものがある。高齢者の雇用の確保のためにも市のシルバー人材センターの事業拡大させる必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 契約額の1割を事務費としているが、作業における燃料費や消耗品費となっている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 法に基づくシルバー人材センターなので費用の一部を負担することは公平公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

法に基づくシルバー人材センターなので費用の一部を負担することは公平公正である。